

(財務諸表作成問題)

当店は個人商店である。次の資料にもとづいて、当期末 (X8 年 12 月 31 日) の貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。

資料 I 決算整理前残高試算表

X8 年 12 月 31 日			
現金	257,700	支払手形	1,104,300
当座預金	2,024,900	買掛金	677,700
受取手形	1,066,800	借入金	3,600,000
売掛金 $\Delta 21,000$	1,714,200	貸倒引当金	43,500 $\Delta 21,000$
繰越商品	879,000	減価償却累計額	3,150,000 $+715,000$
建物	6,750,000	資本金	5,757,500
備品	2,700,000	売上	12,657,000
仕入	8,469,000	受取手数料	158,000 $+45,000$
給料	3,047,000	受取家賃	630,000 $\Delta 270,000$
通信費	336,000	受取利息	12,600
支払保険料 $\Delta 193,500$	387,000		
支払利息 $+36,000$	108,000		
消耗品費	51,000		
	27,790,600		27,790,600

資料 II 決算整理事項等

- ✓(1) 得意先が倒産し、前期から繰り越されてきた売掛金のうち¥21,000 が貸倒れとなった。
- ✓(2) 9月10日に業務用パソコン¥720,000 (残存価額ゼロ、耐用年数6年、定額法)を購入し、代金は小切手を振り出して支払っていたが未処理であった。
- ✓(3) 期末商品棚卸高は¥810,000である。 **売上原価 8,538,000**
- ✓(4) 受取手形および売掛金の期末残高に対して貸倒実績率3%により貸倒引当金を設定する。
- ✓(5) 建物および備品の減価償却は、次の条件にもとづいて行う。 **設定 82,800、繰入 60,300**
 建物：定額法、残存価額ゼロ、耐用年数30年 **Dep225,000**
 備品：定額法、残存価額ゼロ、耐用年数6年 **Dep450,000(既存分)+40,000(新規分)** } **715,000**
- ✓(6) 受取家賃の**前受分が¥270,000**ある。
- ✓(7) 受取手数料の**未収分が¥45,000**ある。
- ✓(8) 支払保険料の**前払分が¥193,500**ある。
- ✓(9) 借入金は、10月1日に期間1年、利率年4%で借り入れたものである。利息は元本返済時にまとめて支払う。 **未払 36,000**